

第 39 回日本パラ水泳選手権大会 二次要項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は、クラス S1/SB1/SM1~S14/SB14/SM14 は、世界パラ水泳連盟 (WPS) 競技規則を基にした競技運営指針「競泳規則」と本大会要項により実施する。国際クラスに該当しない視覚障がいと肢体不自由選手のクラスは、S21/SB21/SM21 として実施し、競技運営指針「競泳規則」を準用する。
S15/SB15/SM15 は、国際水泳連盟 (FINA) 競泳競技規則により実施する。内容の主なものについては (一社) 日本パラ水泳連盟 (JPSF) 「2022 年度 JPSF 競技運営指針」を参照すること (HP 掲載)
- (2) 競技方法は、個人種目、リレーともタイムレース決勝とし、複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。
- (3) 本大会では、JPSF の「競技者資格規程」(別添参照) が適用されるので、スポーツマンシップに留意すること。
* 水着、広告規制、装飾品など招集所でチェックするので、その旨心得ること。
* テーピングやサポーターも禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされる。ただし傷を保護するために行う場合は、審判長の指定した役員の許可が必要で、「テーピング等申請用紙」を提出すること。
* 障害上、医療用具 (ストーマ、カテーテル等) を装着して泳ぐ場合は、テーピングと同じく「テーピング等申請用紙」を提出し、審判長の指定した役員の許可が必要である。
* 「テーピング等申請用紙」は選手受付に備えている。該当レースの 1 時間前までに「テーピング等申請用紙」を競技デスク (招集所に設置) に提出し、許可を得ること。
- (4) 水着の取り扱いについては、WPS 規則、FINA 規則による。障害上など着用の問題がある場合は申し出ること
で例外的に認めることがある。該当レースの 1 時間前までに「規定外の水着使用申請書」を競技デスクに提出し、判断を仰ぐこと。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。
- (5) 計時のバックアップは、半自動計時装置を使用する。
- (6) 本大会は、上訴審判団を設置する。

2 スタートについて

スタートは 1 回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートをした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語 (「Take your marks」) で行う。

※スタートの方法

- * 審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「Take your marks」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートをする場合は、短い笛の合図で、直ちに自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーン内に移動する。飛び込みスタートの時は「Take your marks」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空いため、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。(競技の進行上、水中スタートをする選手でプールサイドから入水する選手は、自分の選手紹介が終わり次第、プールサイドに移動し、入水の準備をすること)
- * 聴覚障がいの選手のスタート合図は、原則として上記と同様であるが、笛や発声による音声での合図の部分については、出発合図員の動作により表現するので、出発合図員に注目すること。
- * 本大会は、バックプレート付きのスタート台およびバックストロークレッジを使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。

3 ゴールと退水について

- (1) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (2) ゴール後は退水合図 (短い 2 回のホイッスル) 後、横から退水すること。

4 競技順序

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。

5 招集

- (1) 招集は、プールサイドで行う。あらかじめ記載された競技時刻の 10 分前をめどに集まること。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自スタートリスト等で自分の招集時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。
- (2) 当日競技を棄権することになった場合は、競技開始 1 時間前までに「棄権届け出用紙」を競技デスクに提出すること。
- (3) 招集場所が密にならないように、他者との距離の確保や会話は控える等留意すること。

6 競技エリア内入場許可

- (1) 本大会では、競技エリアに介助者が入る場合、コードオブエクセプションの「T」、「A」、「Y」の記載のある選手については申請不要である。「T」、「A」、「Y」の記載のない選手については「エリア入場許可申請」を、該当レースの 1 時間前までに競技デスクに提出し、許可を得ること。内容によっては認められないことがある。
- (2) 入退水介助とタッピングは選手側の介助者で行うこと。大会運営側でのタッピングや入退水の介助は、原則として行わない。
- (3) 「エリア入場許可申請書」は、選手受付に備えている。申請書は JPSF のホームページからもダウンロードできる (<http://new.paraswim.jp/>)
- (4) S/SB/SM14、15 ならびに JDSA の選手の介助者等のエリア内入場は、認められない。
- (5) 介助者がいない選手の義足や杖、車いすなどは競技役員で移動する。

7 競技時間

競技時間は、あらかじめスタートリストに記載された時刻で行う。ただし、トラブルなどにより記載された時刻から遅れることがあるので、進行状況に注意すること。

8 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれ「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」に記入し、競技開始 1 時間前までに競技デスクへ提出すること。エントリーと異なる参加種目の変更や追加は原則認めない。「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」は選手受付に備え付けている。申請用紙は JPSF のホームページからもダウンロードできる (<http://new.paraswim.jp/>)

9 抗議について(クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと)

- (1) 競技開始前に判明した事項は、出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。
- (2) 競技終了後の抗議は、公式掲示の時刻から 30 分以内に、文書及び抗議料 10,000 円を添えて大会本部に提出しなければならない。
- (3) 抗議が認められれば抗議料は返金される。抗議が却下された場合は、抗議料は大会実行委員会の所有となる。
- (4) 抗議用紙は、競技デスクに備え付けている。
- (5) 抗議の裁定に対する上訴が可能であり、かかる上訴は次の時点から 30 分以内に上訴料 15,000 円を添えて上訴審判団に対して行わなければならない。
*審判長の決定により修正された種目結果の正式発表があった時から 30 分以内。
*行われた抗議に対して、審判長もしくは審判長の代理者から結果の修正は行われたい旨の通知があった時から 30 分以内。
- (6) 上訴が認められれば上訴料は返金される。上訴が却下された場合は、上訴料は大会実行委員会の所有となる。
- (7) 上訴用紙は競技デスクに備え付けている。
- (8) 審判長に失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。
- (9) 公式掲示は、速報板に掲出された時刻をもって公式掲示とする。

10 表彰について

- (1) 各種目(リレーの場合はチーム)の優勝者に金メダルが授与される。2 位には銀メダル、3 位には銅メダルが授

与される。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。

- (2) 表彰状は授与せず、完泳者には記録証を授与する。
- (3) リレー優勝チームには、優勝カップを授与する。
- (4) オープン参加(JDSA)の選手は、表彰の対象としない。
- (5) 表彰式は、表彰所において随時行われるため、入賞者は、その競技の終了後に表彰所に行くこと。

11 速報の掲示及び記録証の配布

- (1) 速報は、2階ロビーに掲示する。
- (2) 完泳した希望する選手に記録証を配布する。記録証は、記録証受渡所(選手受付付近)で配布するので、参加当日の全競技終了30分後までに各自、取りに行くこと(記録証の郵送は行わない)

12 リレーオーダー等について

- (1) 各チームの責任者は、大会初日の12日(土)の午前中までに、リレーオーダー用紙を選手受付まで取りに行くこと。
- (2) 記載したリレーオーダー用紙は、その種目の開始1時間前までに競技デスクに提出すること(ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること)
- (3) リレーにおける第一泳者の記録は計測しない。

13 受付、前日(公式)練習及び大会当日のウォーミングアップについて

- (1) 練習時は、1レーンの使用人数の目安を守って練習すること。
- (2) 練習に使用できる用具は、ビート板・プルブイとする(パドル、フィン、シュノーケル、コード類は使用できない)
- (3) 練習時間は次のとおりとする。

前日練習(公式練習日)

11月11日(金) 受付:12:50 練習13:00~17:00

※選手受付は、2階エントランスで行う(車いすを使用する選手は、1階より入場し、エレベーターで2階に移動できる。

※メインプール、サブプール、ダイビングプールが使用できる。

※公式スタート練習は行わないが、メインプールにおいてダッシュレーンを設置する。

大会当日

※選手受付は、8時30分より、2階エントランスで行う(車いすを使用する選手は、1階より入場し、エレベーターで2階に移動できる。

※感染対策上、プールサイドに入ることができるのは選手、コーチ、タッパーのみとする。入退水介助者は入退水の時のみとする。

①メインプール(50m×10レーン 水深2m) ※メインプールのコーナーに水深台を入れる

11月12日(土) 8:30~9:50 12:50~13:15

11月13日(日) 8:30~9:50 12:00~12:45

※1レーンの使用人数は20人を目安とする。

※公式スタート練習は行わないが、ダッシュレーンを設置する。

※開会式、セレモニーの間は使用できない。

②サブプール(25m×6レーン 水深1.2~1.4m)

11月12日(土) 8:30~競技終了後30分まで

11月13日(日) 8:30~競技終了後30分まで

※1レーンの使用人数は10人を目安とする。

※サブプールでの飛び込みは禁止する。

③ダイビングプール

※競技会開催中は、原則として使用できない。

14 監督者会議について

- (1) 監督者会議は行わないので、この二次要項をよく読んでおくこと。
- (2) 競技についての質疑がある場合は、競技デスクへ問い合わせること。

15 クラス分けについて

本大会では、指名された選手に行う。

16 水着・所属表示等について

- (1) 本大会の水着に関する規程は、FINA 及び WPS の競技規則による。1-(4) の許可を得た場合以外の選手は FINA 公認の水着を着用すること。
- (2) 水着のチェックは招集所で行う。
- (3) 規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、すべて参考記録扱いとする。
- (4) 着用できる水着は 1 枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。
- (5) 水着へのテーピングおよび 2 次加工は禁止する。
- (6) 障がい上の理由で FINA マークのついていない加工された水着または FINA マーク剥離の水着を着用する場合は、事前に大会本部に届け出て、許可を受けなければならない(1-(4) 参照)
- (7) 競技エリアで着用するユニフォームやバッグ等プールサイドに持ち込むもの等の表示は、介助者、スタッフを含め、次のもの以外は認められない。
 - ①自分の氏名、所属の名称やマーク
 - ②国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク
 - ③公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの
 - ④水着、ウェア等のメーカーロゴ・マーク
 - ⑤事前に届出承認がされている、スポンサーロゴ

※それぞれの大きさや数については、【表】のとおりとする。

【表】

マークの種類/用途	水着についてよい大きさや数	ウェアについてよい大きさや数	その他のものについてよい大きさや数
自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや主催者が認めたもの	50cm ² 以内で 1 か所	大きさ、数に制限なし	大きさ、数に制限なし
メーカーのロゴ・マーク	メーカーロゴまたはマークは 30 cm ² 以内で 1 か所	メーカーロゴは 40 cm ² 以内で 1 か所。マークは 20 cm ² 以内であれば数に制限なし	メーカーロゴは 20 cm ² 以内で 1 か所。マークは 20 cm ² 以内であれば数に制限なし
事前承認されたスポンサーロゴ	30 cm ² 以内で 1 か所	40 cm ² 以内で 1 か所	20 cm ² 以内で 1 か所

※1 それぞれの大きさ(サイズ)は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に 1 つ、ウエストより下に 1 つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に 1 つ、下部に 1 つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

17 アンチ・ドーピングについて(以下、JADA からの注意喚起文による)

- (1) ドーピング検査の実施については、本大会実施要項の記載による。
- (2) ドーピング検査の結果、陽性反応となり、違反が認められた場合は、記録は認められず、メダルは返却しなければならない。

18 トレーナーブースについて

- (1) トレーナーブースは設置しない。
- (2) 選手のパーソナルスタッフによるケアは最小限とすること。
- (3) マッサージベットの持ち込みは禁止する。

19 開会式、閉会式

- (1) 開会式は、第 1 日目(11 月 12 日) 12 時 10 分からプールサイドにおいて行う。
- (2) 閉会式は、第 2 日目(11 月 13 日) 15 時 20 分からプールサイドにおいて行う。

20 その他

- (1) 選手ならびに同行者は 2 階入口より出入りする。選手の同行者は選手と一緒に入場し、受付をすること。
- (2) 車いすを使用する選手は 1 階より入場し、エレベーターを使用して 2 階に移動することができる。
- (3) 車いすの貸し出しは行わない。各自対応すること。また、更衣室やプールに入る際は十分に汚れを落として入ること。
- (4) 選手の休憩・待機場所は、2 階観覧席とする。観覧席裏側のフロアを使用する際は他者と十分な距離をとること。
- (5) 観覧席では他者との距離を取って座ること。
- (6) 大会側より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。
- (7) 車いすを使用する選手が招集所に行く際は、エレベーターで 1 階に降り、プールサイド本部席後ろを通過すること。
- (8) ファミリー更衣室はサブプール更衣室に設置する。譲り合って使用すること。
- (9) 更衣室のロッカーは使えないので、貴重品等は各自で管理すること。また、貴重品に限らず紛失盗難することもあるため、荷物の管理は気を付けること。紛失盗難などの責任は一切負わない。
- (10) 更衣室の使用はレース出場時のみとし、荷物を置いたままにしないこと。
- (11) プールサイドは裸足または室内用シューズ、サンダル等に履き替えて移動すること。
- (12) 水温は 28 度前後とする。室温は 27 度程度とする。
- (13) メインプールのコーナーに水深を浅くするための赤台を設置する。
- (14) 選手には開催期間(前日練習日も含む)を通して 1 枚のアクレディテーションカード(AD カードという)を発行する。紛失しないようにすること。バックストロークレッジの使用の有無について各自で記入しておくこと。
- (15) 選手、競技役員および事前に申請のあった関係者には開催期間を通して 1 枚の AD カードを発行する。
- (16) AD カードは、会場内では常に携帯(首から下げる等)しておくこと(練習中、レース中を除く)。
- (17) 選手は、原則として、レース前までマスクを着用すること。衣類やマスクが直接脱衣かごに触れないよう、ビニール袋などを各自で準備すること。
- (18) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わない。
- (19) 会場において発熱等の症状があった場合は、医務員または医務救護まで連絡の上、すみやかに退館すること。その他、別紙「感染対策指針」に従うこととする。
- (20) 競技の撮影について
 - ① 本大会に関する知的財産権(大会写真、動画等)は主催者に帰属する。主催者の許可なく個人的な利用(非営利目的以外)以外での使用は認められない。
 - ② 選手や同行者等による撮影場所は、2 階観覧席からとする。撮影機器は携帯用カメラレベル(携帯電話・スマートフォン・レンズ一体型コンパクトデジタルカメラ)とし、フラッシュを利用しない撮影等、競技の妨げになるよう

な撮影はしないこと。また、I 眼レフやレンズ交換ができるタイプのカメラ及びビデオカメラ、赤外線フィルター、赤外線装置を使っの撮影は禁止する。

- ③不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。
 - ④個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意をすること。
 - ⑤撮影した写真・動画については、ご家庭・チーム内で鑑賞することにとどめ、許可を得ていない自分以外の人が写りこむ写真や JPSF 協賛企業の広告以外の広告物が写りこむ写真のインターネット(SNS 等)へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。
 - ⑥メディアの撮影は事前に申請し許可を得た場合のみとし、当日報道受付でメディアガイドを受け取り、それに従って行うこと。決められた場所以外での取材・撮影は禁止する。
- (21) 大会実施要項にも記載したように、本大会では、YouTube で競技状況の映像などを配信するので、多くの人にも見られている。選手としての自覚をもって行動をするなど、その旨心得ること。
 - (22) 本大会のプログラム記載事項、記録などは JPSF ホームページで公開する予定である。その他、JPSF の個人情報取り扱い方針に基づいて行われる。
 - (23) ゴミはすべて持ち帰ること。
 - (24) 駐車場の開場は 7 時 30 分を予定している。駐車場には限りがあるので、その旨理解して利用すること。
 - (25) 忘れ物は、選手受付に一時保管する。大会終了後は神戸事務所て保管するが 2 週間を超えた場合は処分する。忘れ物等の問合せは直接、選手受付へ申し出ること。大会終了後は神戸事務所に連絡すること。
 - (26) 本大会における新型コロナウイルス感染症防止対策の詳細については更新することがある。更新した場合は JPSF のホームページに掲載する。